

県民みんなで支える

新たな森づくり

「やまがた緑環境税」を活用した取組み



やまがた緑環境憲章

— 県民みんなで支える新たな森づくり —

森は、先人からの贈りものであると同時に、未来の世代からの預かり物です。

これまで、私たちは、森や自然の恵みに感謝し、「緑の宝」にみられるような自然との共生の文化を生み、多くの命と共有してきました。

森は、私たちの暮らしを災害から守るとともに、豊かな水を育み、母なる川「最上」の清流となり、海につながります。また、森には、地球の温暖化を防止する大切な役割もあります。

将来、私たちの暮らしが豊かになる、森との関わりを保ち、森の働きを十分に活かすことが大切です。

私たちは、今、森からの恩恵を受け取るのみではなく、一人ひとりが森と共に生きていくことや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こす必要があります。

私たちは、やまがたの美しい豊かな森や自然を未来の子ども達に引き継ぐためにも、県民みんなで支える新たな森づくりを進めることを誓い、「やまがた緑環境憲章」を制定します。

県民みんなで支える森づくり



私たちは、

- 1 暮らしや環境を守るため、豊かな森づくりを進めます。
- 2 森や木の文化を見つめ直し、暮らしの中に木を活かします。
- 3 一人ひとりの力を活かして、森づくりの輪を広げます。
- 4 森や自然の大切さを学び、森との絆を深めます。
- 5 みんなで森づくりを支え、かけがえのない森を未来に贈ります。

平成20年1月10日制定

山形県

やまがた緑環境税

Q

やまがた緑環境税はみんなが納めるの？

A. 対象となるのは、住民税が課税されている方です。

例えば、ご家族の中で1人だけに課税されている場合は、1,000円を納めていただくことになります。



納める人は？

住民税(県民税均等割)の納税義務者と同じです。

■個人/1月1日現在で県内に住所等を有する人

■法人/県内に事務所等を有する法人

納税のしくみは？

住民税といっしょに納税していただくしくみです。

住民税に加算される次の額を、いっしょに納めていただきます。

納める額は？

■個人…年1,000円

■法人…法人県民税均等割額の10%相当額

資本金等の額	1千万円以下	1千万円超1億円以下	1億円超10億円以下	10億円超50億円以下	50億円超
税 額	2,000円	5,000円	13,000円	54,000円	80,000円

納める方法は？

個人	給与所得者	住民税(県民税)と合わせ、給与から差し引きされます。
	給与所得者以外の方	住民税の納税通知書により、一番寄りの金融機関の窓口などで納めます。
法人		法人県民税の申告納付の際に、合わせて納めます。

制度の点検等は？

導入から5年後を目途に、制度の点検・見直しを行います。

税の管理は？

納めていただいた税金は、他の税金と区別するため、全額を基金に入れて管理し、新たな森づくりに限定して使わせていただきます。



■お問い合わせ先 〒990-8570 山形市松波2丁目8番1号

■県民参加の森づくりについては

山形県文化環境部かどり自然課 TEL:023-630-2209 E-mail:ymidori@pref.yamagata.jp

■森林の整備については

山形県森林水産部森林課 TEL:023-630-2528 E-mail:yshinrin@pref.yamagata.jp

■税制度・税金の納め方等については

山形県総務部税政課 TEL:023-630-2069 E-mail:zyzeisei@pref.yamagata.jp

詳しくは、山形県ホームページをご覧ください

県ホームページ
トップページ

ピックアップやまがた

「やまがた緑環境税」

今、なぜ、やまがた緑環境税を使って森づくりをするの？

わたしたちの暮らしを守る！森の大切な働き

森には、雨水を蓄えて洪水や渇水を緩和したり、土砂の流出や山崩れを防いだり、また、大気中の二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなど、わたしたちの暮らしを支えてくれる大切な働きがあります。



でもこのままだと…

森の危機はみんなの危機！

今、腐木などの適切な手入れがされずに、荒れている森が増えていきます。取り返しのつかない状態まで森が荒れてしまうと、森の再生には非常に長い年月がかかります。このままだと、森によって守られてきたわたしたちの暮らしが、そして未来が危ない！今こそ森づくりに取り組む必要があります。



そこで…「やまがた緑環境税」を活用したみんなで作る森づくり！

やまがたの豊かな緑を、かけがえのない財産として未来に引き継ぐため、「やまがた緑環境税」を活用し、「県民みんなで作る新たな森づくりに取り組みます！



やまがた緑環境税はこのように活かされています！

1 荒廃が進んでいる森林の整備に…

◎ スギ人工林を広葉樹が入り混じった森林へ誘導します

…不良木の伐採等により、林の中に光を当て針葉樹と広葉樹が入り混じった森林へ



◎ スギ人工林をいろいろな樹種からなる森林へ誘導します

…間伐(抜き切り)等を行い、森林組合等で一元的に管理し、長期育成林へ



◎ 病害虫などで荒廃した里山林を再生します

…不良木、枯死木を伐採し、様々な種類の木が生育する里山林へ



◎ 整備対象は？

既得林のうち「荒廃が進んだ人工林の中で採集上重要な人工林面積7,800ha」と「長期育成されている里山林の中で荒廃が顕著な里山林面積3,900ha」を10年間で整備します。

◎ 伐採所有者が得するんじゃないの？

伐採によって森林の持つ機能が回復できるよう、整備された森林の所有者からは、伐採一掃にすべての木を切ることを強制(強制伐採)はせず(伐採しない)で済ませる機会を創出いたします。



2 県民参加の森づくり活動に…

皆さんが行う森づくりや自然環境の保全活動などの取組みを支援します。

- ◎ みどり環境公募事業
NPOやボランティア団体等が行う森づくり活動の取組みを募集し、支援します。
- ◎ みどり環境交付金事業
市町村が行う地域の独自性を活かした森づくり活動などの取組みを支援します。
- ◎ 自然環境保全対策
野生動物の保全事業など、先進的・モデル的な取組みを行います。
- ◎ 自然環境学習や森に親しむ環境づくり
子どもを対象にした自然環境学習など、森に親しむ取組みを行います。



森づくりの活動が広がっています！

事業費
約6.7億円

約1.4億円
(約21%)

約0.2億円
(約3%)

約5.1億円
(約76%)

やまがた緑環境税の使いみち

※ 森林の整備に…
1. 整備対象となる人工林のうち、採集上重要な人工林面積7,800haと「長期育成されている里山林の中で荒廃が顕著な里山林面積3,900ha」を10年間で整備します。
2. やまがた緑環境税を活用し、森林の整備に活用します。
3. 森林の整備に活用する資金の一部は、やまがた緑環境税を活用します。
4. やまがた緑環境税を活用する資金の一部は、やまがた緑環境税を活用します。
5. やまがた緑環境税を活用する資金の一部は、やまがた緑環境税を活用します。

1.2 森林資源の循環利用の促進に…

森林整備によって発生した利用可能な間伐材の搬出支援を行います。



◎ 森林資源の循環利用
「木を植えるー育てるー収穫するー上手に使う」のサイクルが健全な森林を育てます。



3 PR活動や効果検証に…

森づくりに関する理解を深めるための啓発や、森づくり活動の支援機関の設置を行います。また、県民の皆さんの意見をお聞きしながら、事業の効果検証や見直しを行います。

- ◎ 森の感謝祭等の開催 6月第1土曜日は「やまがたの森の日」
- ◎ 森づくり活動の総合的な支援機関の設置
森づくり情報の提供、農村貸し出し等の窓口の設置
- ◎ やまがた緑環境税の活用
やまがた緑環境税活用事業の経過・検証

